

浄土真宗本願寺派

安
静
殿
照
高
山

願
照
寺

苦悩というのは、
私たちが勝手にみてい
る夢が、現実に出会って、
破れた時おこる。
事実は、自分と自分に
相撲をとっているだけの
ことなのだ。

憎い人など
一人もいない
ただ
憎いと思う
私が
いるだけである

よくご参詣
下さいました。
ほんとうに不思議な
ご縁です。
私たちの思いを越えた
不思議なご縁ですね！

「同朋」とは師を共通にし、教えを共通にする「とも」。
見ず知らずの方との出遇いは親鸞聖人、蓮如上人、
そして無数の名もなき我らの先輩方、先祖のご縁に
よって与えられたのである。

願照寺

〒444-0902 愛知県岡崎市舩越町本郷32
TEL 0564-31-5569

親鸞聖人面授の直弟子、専信房専海法師を開基とする。専信は聖人の信頼厚く、御本典の書写を許され、聖人より御形見として賜わりたる「安靜の御影」を保持していた。また、聖人の寝食の労を採り、聖人御遷化の時も傍にいたといわれている。

建長8年5月28日覚信房宛での御消息からも聖人と専信の信仰のきずなの深さがうかがえる。

当寺に伝わる、親鸞聖人絵伝(三幅・室町時代)は、「親鸞聖人の出家得度は母公の遺言による」とする説を裏づける貴重な文献資料となっている。当時そのような説があったことを物語るものである。

専信は三河地方に念仏の教えを弘め、その念仏の系譜が越前の念仏に続いていた。これらの御縁により、遠近各地からご参詣を賜っている。御同朋、御同行のきずなを深めることを願うばかりである。

岡崎観光文化百選

願照寺

親鸞聖人の弟子、専信房専海法師を開基としています。かつてこの寺に「安靜の御影」がりましたが、現在は国宝として西本願寺に納められています。

親鸞聖人の「母公教訓」の図を描いた三幅の絵伝や、聖人自作の「聖徳太子像」などが寺宝として所蔵されています。また、近くには阿部一族の墓があります。

先師の遺徳を縁として……。

「弥陀の本願まことにおわしまさば 釈尊の説教虚言なるべからず」

(歎異抄 第二章)

釈尊が悟りをひらかれた結果が教えとして残されています。
その教えを書かした^{いわれ}因、悟りを開いた^{いわれ}因、言葉をかえていえば、
仏教の歴史以前の釈尊を釈尊たらしめた法。その法を我が身
を通して自覚する道(自内証)を求めていきたいと思ひます。



安静の御影
(複製)

この御影は聖人の日常のお姿を映し、その人柄とお徳を慕い
思ふものである。膝の前に、火桶・草履・杖等聖人愛用の
物を置いている。蓮如上人の、ご自身でお給仕したいとの
御懇望により、実如上人の代に本願寺に納められ、その後
国宝に指定されている。

尚、その奇特に対し、本願寺(実如上人)より、親鸞聖人
三狭間御影を下附され、当寺に伝わっている。

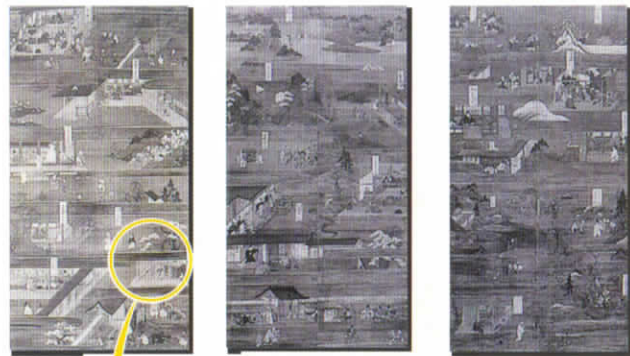
この三狭間御影は礼盤に座する聖人像に、礼盤の前面
の香狭間が三個となっているところからその名で呼ばれて
いる。



願照寺境内

無^む慚^{ざん}無^む愧^きのこの身にて
まことのころはなけれども
弥陀の回向の御名^{みな}なれば
功徳は十方にみちたまふ
(正像末和讃)

他力他力と
思っていたが
思うところが
みな自力



親鸞聖人 絵伝 三幅 室町時代作



聖人の一代記を、御誕生より遷化後の廟堂造営までの
事蹟を描いたものである。特にこの絵伝は、御誕生と出
家得度の際に、もう一区画を設け、聖人の出家得度の動
機について表現されている。それは、病に伏す婦人(母公)
とその枕辺に座する童児(松若丸)、更に縁側には薬湯
を捧げる女性を描いている。このことから、出家得度の
動機は母公の遺言によるとする説がうかがえる。